

どんな①センセイ(専制)政治でも世論の支えなしには立ちゆかない——。以前にも引用した18世紀英国の哲学者ヒュームの(1)洞察である。独裁が長く続くとしても永遠ではない。人心が本当に離れれば②ケンセイ(権勢)は③失墜(しつつい)する▼△X確かに√世論の力は恐ろしい。一時期、日本の首相がほぼ1年ごとに交代したのも結局は有権者の④リハン(離反)によつてだった。内閣支持率の数字に(2)イッキイチユウし、⑤翻弄(ほんろう)される。「世論調査政治」という、ありがたい命⑥メイメイ(命名)もなされたほどだ▼「国民と呼吸しながらやっっていく」。安倍「1強」政権を支える菅官房長官の持論である。世論に細かく気を配るという意味だろう。昨年10月の本紙別刷りグロープのインタビューでも、「国民の⑦カンシヨク(感触)を確かめながら進めるべきだ」と話していた▼教育基本法の改正など、「安倍カラー」の打ち出しに⑧セイキユウ(性急)だった第1次政権の反省があった。再登板後、しばらくは経済優先の安全運転を試みたことは間違いない。民意も好意的に推移した。しかし今や、その⑨ヨクセイ(抑制)は見る影もない▼本紙の最新の世論調査では、安倍内閣の不支持率が支持率を上回った。安保関連法案には過半数が反対し、新国立競技場の計画通りの建設には7割がノーだ。他メディアの調査にも似た傾向が見える。菅氏の言う国民との呼吸が⑩シツチョウ(失調)をきたし始めている▼安倍首相以下、安保も競技場もここまで来たら「(3)千万人といえどもわれいかん」の心境なのだろうか。(4)信念があれば多くの批判は覚悟の上、と。政権は分かれ道の前にいる。「2015年7月15日「天声人語」

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを答えなさい。

問二 傍線部(1)「洞察」の意味を答えよう。

(普通の人が見抜けない点までを、直感やすぐれた観察力で見抜くこと。)

問三 傍線部(2)を漢字に直し、その意味を答えよう。

(漢字・一喜一憂) (意味・状況により、喜んだり悲しんだりすること。)

問四 △XVにあてはまる言葉を次から選び、書き入れよう。

・よもや ・とはいえ **確かに** ・それほど ・最も

問五 7月9日から15日までの「天声人語」の見出しを10字前後でつけよう。

・9日 (カーブを曲がる政権の運転) ・10日 (学びの場への介入)

・11日 (嫌わないで、昆虫を) ・12日 (盛り上がる安保反対)

・14日 (安法案採決の前に) ・15日 (内閣支持率の逆転) ※すべて「答例」。

問六 9日から15日までの朝日社説から安保関連の見出しを書き出そう。

・11日 (安保法制 首相の「丁寧な説明」?) ・14日 (生煮えの安保法制

衆院採決は容認できない) ・15日 (「違憲」法案 採決に反対する)

問七 傍線部(3)の前に置かれる語句を、現代仮名遣いひらがなで答えよう。

(みずからかえりみてなおくんば)

問八 傍線部(4)「信念」の内容を二例、それぞれ25字以内で答えよう。

〔答例〕(安保関連法案を今国会で成立させること。)

〔答例〕(新国立競技場を計画通り建設すること。)